

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

自らが学びをデザインするひぐみっ子に期待！

校長 丹羽正昇



桜の木の下で遊ぶひぐみっ子

いちねんせい 一年生のみなさん、にゅうがく 入学おめでとう！
にねんせい 二年生からろくにんせい 六年生のみなさん、しんきゅう 進級おめでとう！
毎日毎日、すこ 少しずつせいちよう 成長している自分にじぶん 自信をもち、
ひぐみでのたの 楽しいせいかつ 生活は、じぶん 自分がつくるんだといういきご 意気込みと、
ななかまやともだち 友達とちから 力をあわせてつくるんだというやさしいきもちで、
この「ひぐみ」でのがっこうせいかつ 学校生活をゆた 豊かにしていくいちねんかん 一年間にしましょう。

東汲沢小学校(愛称:ひぐみ)では、新しいひぐみっ子(1年生+転入生)65名を迎え、令和5年度がスタートしました。

以前、学校だよりに探究について書いたことがあります。そこでは、探究していく力こそが生きる力であるとお伝えしました。探究するというのは、あきらめずに粘り強く問題に向かい合い、とことんやり続けるということです。私たち大人は、時にやり直すことをおっくうだと感じる場合があります。あまたの失敗や成功を繰り返すうちに、いつしか失敗を恐れ、成功のみを求めようになってしまう。それは、誰もしが抱くことであり、(何をもって成功や失敗とするかはさておき)成功したい失敗したくないと思うことは悪いことではありません。ただ、そう思うがあまり、子どもには大人が用意したルールの上を歩かせたい、失敗を回避させたいとの情が強くなることもあります。そのことは、人生の先輩である大人として、おやみに否定される情ではありません。一方で、本当にそれでよいのかという大人としての問いが必要だということも、ご理解いただけるのではと思います。

そのようなことを踏まえながら、ひぐみでは、できるだけ自分でルールを敷いて歩いていける子どもに育てたい。いや、育てるのではなく、育ちを促したいと思っています。ひぐみの教育で大切にしたいことは、一人ひとりの子どもの想いを大切にすることです。そのために学校ができることは、真っ白なパズルのピースをできるだけ多く用意し、子ども自らがそのピースを思い描いたように置いていく学びを実現することです。言い換えれば、「子ども自らが学びをデザインする学校」それがひぐみです。

これは、ひぐみの学びづくりにおける基本理念です。令和5年度もしっかりと継続していきたいと思っています。

いつの時代も先を見通す力は必要ですが、もっと必要なのは、先が見通せないからあきらめるのではなく、解決できないことを解決できない状況のまま引き受け、それでも粘り強く解決の糸口を求め続けることです。その結果、人にほめられることがあるかもしれません。反対に、人に批判されることがあるかもしれません。求め続けても、答えなんかないかもしれません。挑戦しても、報われないかもしれません。しかし、そんなことよりも価値があるのは、結果を恐れず、途中であきらめず、自分と仲間を信じ、力を合わせて粘り強く続けるという探究する過程なのです。その意味で人生には成功も失敗もないのではないのでしょうか。これは、ひぐみでの学びの様子を目の当たりにしてきて得た、ひぐみっ子とひぐみの職員からの学びです。どうぞ、令和5年度も期待してください。学校生活の中心である授業を通して、自分の成長段階に合わせて意義ある探究的な学びをたくさん体験し、自分には無限の可能性があると自覚するひぐみっ子と、それにとことん寄り添おうとするひぐみの職員に。

令和5年度も、どうぞよろしくお願いいたします。